



留学生と語り合う No.91

RKKニュース (2023年春号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

広報の役割

皆さま御存知のように、この三月に RKK の PR リーフレット数百部を公共施設等に頒布しました。同時にスマホ向けの website を一般に公開し、すでに150人程の訪問を受けています。

コロナ禍は RKK の活動にも多大な影響を及ぼしています。正会員、登録留学生ともに数の減少に拍車がかかり、日本語の教え方講習会、社会見学、スピーチ大会を含むフェスティバルも中止に追い込まれました。こうした危機の中で、これからの RKK を見据えて取った行動が上記のリーフレットと website の制作です。幸いにして、現代の情報化社会にあって、これらの制作の環境とツールは非常に整っており、例えば website に関しては google workspace に優れたプラットフォームが公開されています。また、インターネット空間には様々なコミュニケーションの手法が提供されていて、一人で仕事を抱え込まなくても済むようになりました。

RKK が更なる発展を続けるためには、会員、留学生間の RKK 三つの絆の他に、社会との絆も非常に重要です。社会のニーズに関する知識が不可欠だからです。広報委員会は、これらの相互の関係を深めるために会員の協力を得ながら様々な試みを行います。

広報委員会 (村田威雄)

Role of Public Relations

We released RKK's PR leaflet this March and handed out hundreds to public facilities. Simultaneously, we opened an additional website for smartphones to the public, getting about 150 visits.

The corona crisis has had a tremendous impact on the activities of RKK as well. The number of regular members and registered international students has been declining. We had to cancel RKK festivals with speech contests, Japanese language instruction classes, and social trips. Amid such a crisis, the action taken with an eye on the future of RKK is the production of the above leaflet and website.

Fortunately, thanks to today's information technologies, the environment and tools for these productions are well-equipped. For example, regarding the website, an excellent platform is available on google workspace. In addition, we can use various communication methods in the internet space so that you do not have to work alone.

For RKK to develop further, in addition to the RKK three-bonds between members and international students, bonds with society are also required. It is because knowledge about social needs is essential. The Public Relations Committee will continue various attempts with the cooperation of RKK members to deepen these mutual relationships.

The Public Relations Committee (Takeo Murata)

第14回通常総会、講演会の案内

日時；2023年5月5日(金・祝)

14:00開始

会場；かながわ県民センター

711号室

(総会后講演会)

講師；横浜国立大学国際戦略推進機構
准教授 半沢千絵美先生

演題；最近の留学生の動向；横浜国立大学の事例をもとに



Let's Try Japanese Koto (Traditional Music Instrument)

Venue: Private Home at Higashi-Totsuka

When: April to May, 3times

Getting there: Higashi-Totsuka Station on JR Yokosuka Line

Let's participate Koto lessons and play at Univ. Festival.

For more information, please scan the QR code.





Let's Enjoy Japanese Star Festival (Tanabata)

Venue: Hiratsuka City Central Public Hall

When: 8th(Sat) July 12:30-16:30

Getting there: JR Tokaido Line Hiratsuka Station

留学生からの便り

にほん す はじ ねん
日本に住み始めて1年

なごやだいがく サラマンカ サユリ (C o l o m b i a)
名古屋大学 サラマンカ サユリ (コロンビア)



サラマンカサユリと申します。コロンビアのカロリ出身です。日本へ来る前にコロンビアの大学マーケティングとビジネスを勉強しました。そのあとで国際協力の仕事を、経済開発などに興味を持っています。これから、日本の経済や歴史について色々なことを勉強したいと思っています。2019年からコロナが流行り始めました。コロナで国際旅行をすることができなくなりました。日本に行けなくてかなしかったですが、今2年間経って名古屋で幸せに暮らしています。

現在、私は名古屋大学で経済開発とマネジメントを専攻している修士です。私の夢はコロンビアの経済開発を研究するエコノミストになることです。経済学は難しく、コロンビアなどの途上国ではデータを収集することができないので、衛星からの夜景を使ってコロンビアの経済を考えることを勉強しています。このテーマは難しそうですが革新的になるので頑張ろうと思います。

私は日本にほぼ1年住んでいます、日本でのたくさんの楽しい経験の一つにスノーボードがあります。コロンビアは赤道の近くに位置しているからいつも晴れの天気が多いです。雪が降らないのでスノーボードをすることができません。今年、スノーボードをやりたいために長野市へ行きました。長野市へ行く前に色々なビデオを見ました。でも、実際の練習はとても難しかったです。私は何度も転んでしまいました。来年は今年より上手にスノーボードができるように頑張ります。

冬が終わり春になり始めています。桜はまだ見たことがありません。これから綺麗な桜をみて、夏には花火大会に行きたいと思います。勉強しながら日本の生活を楽しめたら嬉しいです！ (原文のまま)

Exploring Japan Culture with RKK

Yokohama National University, Ethel De Jesus. (Honduras)

My name is Ethel De Jesús, I come from Honduras, Central America. I'm a JICA scholar, student at Yokohama National University YNU, International Social Science Department. I knew about RKK through YNU. Joining the network has allowed me to explore Japanese Culture and places while learning Japanese.



Every week I take one Japanese lesson with Watanabe sensei who volunteers at RKK. I'm in a basic level of Japanese, Watanabe sensei has been patient with me, her teaching methods allows to have fun while learning. Some of the learning activities we do are play card games, which are helpful to memorize associating images and meanings, we practice conversation, and we clarify many doubts related to Japanese language. I'm

sure with Watanabe sensei's help I'll speak Japanese fluently.

We take the Japanese lessons at Tsurumi International Lounge and join its Japanese cultural activities such as a Shodo lesson (Japanese calligraphy) where we wrote in Kanji words such as “Success”, “Hope” and “Well-being”, we went to a Taiko performance (Japanese Drums) enjoyed of the energy the artist transmits to the public and we participate in a wear a Kimono event where I was amazed by the beauty and softness of the traditional Japanese dress. Before participating in each activity we talk about it, and learn some vocabulary involved in the activity, during and after we change impressions practicing conversation. Last fall I joined the social tour with international students No. 74 Odawara trip where we visit the Fishing Harbor and Odawara Castle, a good time talking with RKK volunteers, international students while sightseeing.

Thank you RKK, I've met wonderful people enjoyed and learned so much about Japanese culture through the network. See you soon in the next activity.



にほんひさ 日本久しぶり！

もとよこほまこくりつだいがくりゅうがくせい レディシア・サンデラ (インドネシア)



した。

みなさん、こんにちは。バリ島出身のレディシアと申します。まず RKK の先生、今まで色々なことを手伝っていただきありがとうございました。2019年に新婚旅行のために行きました。コロナのせいで3年間日本に行けなかったです。久しぶりに2023年に息子と一緒に日本に来ることができました。初めて来日したのは2013年、インドネシア代表として福岡大学の国際セミナーに参加しました。その後、2014年にフェリス女学院大学で奨学金を得る機会があって、1年間留学しま

日本にいた際に一番よく聞かれるのは「日本語を勉強する理由は何ですか？」という質問です。私ははっきりした理由があるので、いつでもちゃんと答えられます。その理由は毎年日本人の観光客がたくさんバリに遊びに来るので、なんとなくよく日本人と会えるチャンスがあります。その時に本当に気になって、日本人と話したいと思ったのに、日本人はあまり英語を話せないので、返事がありませんでした。悲しいでしたが、あきらめなくなりました。高校生時代に、私は自分でやさしい日本語を勉強して、日本の挨拶が分かったときにまた日本人の観光客に話してみました。そのとき返事がありました。良かったです。私は絶対もっと日本語を勉強しなければならないと思いました。その理由は他の人と全然ちがうので、珍しいと言われました。他の友達は大体アニメや漫画に興味があるので、日本語を勉強します。私の理由は日本人と話したいという理由です。そのために、一生懸命勉強してようやくインドネシアで一番いい大学での日本語文学部に入学できました。Universitas Gadjah Mada のおかげでフェリス女学院大学に留学できました。

RKK の杉田先生に出会ったことは本当に嬉しくて、良かったです。今まで一番嬉しく感じたことは先生から「あなたは私の孫のようだ」と言われたことです。色々なことを手伝ってくださったり、心配してくださり、本当の家族のようです。毎週日本語の能力試験のために N2 の日本語を教えてください、感謝しております。先生の説明は分かりやすいし、ゆっくり教えてくださいるので助かりました。先生とは勉強だけではなく、様々な経験もさせてもらいました。先生と先生の友達（河村先生）には着物を着る体験や日本の伝統的な文化（相撲、お正月

のおせち料理、茶道)の体験、横浜港クルージング、工場見学などでした。遊びながら勉強になったのが嬉しかったです。(原文のまま)

[元チューターから 元留学生サンデラさんとの交流]

3月、来日した元留学生インドネシアのレディシア・サンデラさん家族に会った。ご主人と2歳半の息子さんも一緒に横浜駅西口周辺を散策し食事を共にした。サンデラさんとは「文化・ファミリー交流グループ」で交流があり、帰国後もラインメールで交流が続いている。(杉田慶子)

活動グループ紹介

日本語支援グループ

私の日本語支援

西地区 徳屋英生



RKKに入会して12年になるがその間20人程の留学生と様々なお付き合いをしてきた。この機会に彼らとの日本語学習、支援のあゆみを振り返ってみることとした。

横浜国大の留学生は主にIMP、工科系の学生であり、彼らの多くは英語での研究が多く、日本語の必要性が少ないため簡単な挨拶程度の練習に終わった。

フェリス女学院大学の留学生の多くは程度の差こそあれ日本語ができる学生が多かった。このような学生との日本語学習は相手の習熟度、興味にあわせ多岐にわたった。比較的初級レベルであった中国からのLiさんとは日常生活の各場面を設定しロールプレ

イング形式で表現の仕方などを学習した。彼女の努力もあって1年後にはかなりのレベルにまで上達し驚かされた。

日本語がある程度できる韓国からのKさんとは日本の歴史特に安土桃山から徳川初期を学習した。台湾からのKさんとは日本の風俗伝統につき、ひな祭り、日本の冠婚葬祭等に関する参考書を読み、自分にとっても新しい発見があった。また台湾からのKさんは現在の世界の政治情勢に関心が高く日米安保条約を一緒に勉強した。同じく台湾からのMさんは日本の修学旅行につき研究をしており、この学習を通じて修学旅行は戦前の日本統治下にあった朝鮮、満州訪問が始まりであり、その根幹にはお伊勢詣りの伝統が残っていることを学んだ。日本文学を専攻していた中国のCさんとは枕草子など多くの古典文学の出だしの数章を読み、本の内容と共に書かれた時代背景などを話し合った。米国のMさんとは毎回、早口言葉で舌を滑らかにして練習を始め、ラジオの外国向け日本語ニュースを教材とした。

インドネシアのKさん、カナダのHさん等多くの留学生との彼女らの希望に合わせて行った学習支援は貴重な経験となり、今でも懐かしく思い出される。帰国後の留学生とはいろいろなSNSで今も時々連絡を取り合っているし、又現地を訪ね彼女らに大学や名所など案内されたことは楽しい思い出である。

賛助会員の皆さま：ご支援ありがとうございます。

小久保佐恵子、杉田あずさ、佐々木紀長、周 亜萍、山田 実、塚越富士雄
後藤幸男、大塚みどり、西浦けい子 (敬称略)

新入正会員の皆さま：よろしくお願ひします！

野川博之 (港北区)

中国人留学生への日本語支援

北地区 萩谷正治

現在3名の留学生に日本語を教えています。中国人、エチオピア人、それに、パナマ人です。中国人留学生とは、昨年7月より毎週日曜日に県民センターのカナファンクラブで、対面で日本語を教えています。エチオピア人、パナマ人はオンラインで授業を行なっています。今回は、一番熱心に日本語を勉強している中国人留学生に焦点を当てて私の日本語支援をお話したいと思います。



彼は、来日前に日本語検定1級を取得していましたが、発音が多少中国人っぽくなりますが、日本語はほぼ正しく使えます。かなり日本語が上手な中国人でも、助詞の使い方があまり上手くない人が多い中、彼は助詞もほぼ正確に使いこなしています。

横浜国大の修士課程の2年目に入り、日本で就職することを念頭に現在は、就職活動と修士論文の作成を行なっています。

彼への私の日本語支援は、ほぼ下記の4項目になります。

1. 就職活動への助言（企業情報、願書の修正、面接の心得など）
2. 修士論文の日本語添削
3. 日本での社会人としての生活習慣
4. 日本の伝統文化、風習、年中行事など

また、折に触れて、日本で仕事をする場合の日本人と中国人の仕事に対する向き合い方の違いなどを説明しています。この点に関しては、現役時代、欧米人、中国人、インド人などとずっと仕事をして来たのが役立っていると思います。

また、サラリーマンの必要な知識として日本の食文化もありますので、月に1回程度は、庶民的な居酒屋や、老舗料理店などで食事をしながら日本人と中国人の食習慣の違いなどを話し合い、日本の食文化と仕事の間接関係についても知ってもらおうようにしています。

今回、日本語ができ、日本での就職を希望している中国人への日本語支援についてお話しさせていただきましたが、日本語支援のあり方は、留学生それぞれの状況によって変わってきますので、私の場合、3人の留学生には三者三様の支援をさせて頂いております。

私の日本語支援と文化交流

南地区 上前 至



現在、私が日本語支援をしている学生さんは、パラグアイからの国費留学生で、親を日本人にもつ日系3世？の横浜国大生です。英語名は Christopher Ken Contrera Ibuki といわれますが、私達のあいだでは Ken 君とっております。恐らく日本語の漢字名が健（けん）であろうと思い、お互い、そのほうが呼びやすいので、もっぱらそのように呼び合っています。私はただの先生ということで呼びあっておりますが・・・。学習は週に一度、2時間ほど、夜の時間を使っています。コロナ以前は場所を決めて横浜等でやっていましたが、それができなくなり、学習が以後、それではたしてうまくいくだろうかとは最初は心配していましたがいまでは、かえってそこに行く時間もとられず、また、学習自体もオンラインを使用している学習も悪くはなく、今では互いにその利便性を享受しているともいえるでしょうか。

日本語レベルとしては日本語検定2級をめざしていますが、あせらず、ぼちぼちと、しかしある意味、真剣に上のレベルをめざして勉強に励んでいるところです。但し、最近はまだ日本語勉強だけで終わらせるのではなく、日本の

文化や習慣も覚えていけるように、日本語の学習の中でも工夫しているところです。健さんは、現在、建築学科に所属し将来は建築関係に就職を日本で希望しているようですが、そういう意味でも、日本語の能力だけではなく、文化や考えかたにも慣れていく必要があると思っています。私にとっても外国の若者との交流が出来ている時間が与えられていることを感謝しています。これからも勉強だけではなく、一人の日本語支援者としてだけではなく一人の人間としての交わり、支えが出来ていく事を望みつつ、彼を支えていきたいと願っている今日この頃です。

社会見学グループ

社会見学の日

横浜国立大学大学院 李 曄（中国）



最近は気温がだんだん暖くなり、道端の桜が咲き、友達と一緒に RKK が主催する 2023 年 3 月 29 日の社会見学イベントに参加しました。私たちは正午ごろに東京の駅に集合し、まず NHK の放送博物館を見学しました。博物館はデジタルなどの技術の変革によってもたらされたこの数十年間の日本の生活の変化や、異なる時期の番組放送内容や、異なる時期のテレビの様子を紹介していました。かつてとても人気のあるテレビ番組とアニメも紹介して、とても面白く感じました。それから、自由活動の時間に、他のいくつかの階も見学し、様々な体験室も参加しました。友達と RKK の先生たちの紹介を聞いて、日本の文化についてもっと深く知るようになったと思います。

その後、私たちは山を下り、浜離宮恩賜庭園まで歩いて行きました。徳川幕府時代の日本式庭園だそうです。中に入ると、景色がとても美しいと感じて、たまたまたくさんの人が春のピクニックをしています。それで、先生たちは私たちに美味しいお菓子をたくさん配って、それから自由活動時間となりました。友達と植竹先生と散歩しながら、庭園の歴史と文化や、最近の生活などについてたくさん喋りました。庭園には湖の中心に建てられた一つ茶室があります。とても日本文化の特色があると感じます。もちろん、記念に写真もたくさん撮りました。そして道中、先生たちも面白くて、私たちと中国語や日中の友情と文化を交流しました。最後に、庭で先生たちと別れを告げました。

一日の活動を通じて RKK の皆さんの友情を深く感じさせます。同時に先生たちの一日の苦勞も誠にありがとうございます。先生たちが優しくユーモラスに私たちとたくさんしゃべって、心がとても暖かく感じ、皆さんとの関係がもっと親しくなったと感じています。（原文のまま）

[RKK 社会見学Gの報告] 第75回 NHK 放送博物館、浜離宮恩賜庭園見学（2023年3月29日実施）

コロナ禍の収束の兆しが見え始めた今も、多くの施設や企業は団体の見学制限を継続しています。今回も見学会の開催を断念せざるを得ないかと考えていた時、NHK 放送博物館で特別展の実施を知り、浜離宮恩賜庭園と合わせて見学会を実施することができました。留学生の参加者は4名と少なかったが、会員の参加は20名と多く、好天と桜の開花に恵まれ、久しぶりに留学生や会員同士の交流ができた半日でした。（山口 記）



文化ファミリーグループ

お花見会



雨のため延期したお花見会を3月31日(金)に、こども自然公園(大池公園)で開催しました。4年ぶりのお花見でしたが、コロナ、週日(金)のため参加者は日本人9人、留学生2人、総勢11人と少人数での開催となりました。

しかしながら、薄曇りの下桜吹雪が舞う中で楽しい歓談と美味しい食事、アルコールで時間があっという間に過ぎていきました。来年の盛会、再会を期し散会しました。(徳屋 記)

外国語学習グループ

中国語講座

外国語学習G(中国語) 有泉佳子



权明先生をお迎えして私たち中国語学習グループは、女性6名男性5名で毎週土曜日午前10時~11時半迄ZOOMで学習を続けています。

画期的な授業についてお話しします。

私たちの書いた文章で授業が行われました。先生から自分で作文するという課題を提案された時、どうしよう？

私には無理と思いました。

毎週担当者が決められます。その人は「自分の好きな県」についての文章を10個作ります。その作り方は先生が鹿児島県を例にお手本を示してくださいました。それを参考に私達は辞書と首っ引きで頑張りました。出来た文章を先生に送ります。するとその週の担当者が書いた10個の文章を先生がプリントし、金曜日までに生徒のもとに送ってくださいます。翌日の授業の予習が出来るようにとの配慮です。授業ではそれらの文章を読んで訳して文章として間違いはないか？みんなで検討します。先生の助言で中国語らしい、すっきりした軽やかな文章に変わるところがとても勉強になりました。広島、岡山、新潟、石川、岩手、福岡、神奈川、栃木、長野等、毎週1県ずつやりました。まるで中国語で日本の各地を旅行しているようで楽しかったです。作文することで文法の勉強に、それを授業で読むことで発音、声調の勉強になりました。この課題で何より自分で中国語で文章が書けた！という喜びがありました。毎週授業終了後その日の授業の要点をまとめて「まとめ」として2枚~3枚のプリントがメンバーのもとに先生から届きます。至れり尽くせりです。

上記の課題のほかに プラスαのメニューがあるのも魅力です。電話番号の中国語読み、計算式(加減乗除)の唱え方等実用的な中国語の指導もあります。前回の授業では「春はあけぼの」の漢詩を教えてくださいました。季節にピッタリ！味わい深い時間でした。

本当に楽しい授業が行われています。

RKK ホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しています。新設の「会員のひろば」は、広報誌のページにあります。「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。
広報委員会

ベトナム語講座アニュアルレポート

外国語学習 G (ベトナム語) 山崎令氏



講座は R K K 会員 12 名の受講者で、講師を横浜国立大学大学院ベトナム留学生の Phung Thi Xuan Huong 先生にお願いして令和 3 年 9 月に開講しました。早や 1 年半経過しましたが、当時はコロナ禍が深刻さを増すさなかで対面授業は出来ませんでした。R K K の活動はオンラインを中心に切り替わっており、ベトナム語講座も zoom 授業でスタートしました。

ご承知のように NHK 語学講座や多くの語学講座などの中でベトナム語講座はまだ馴染みが薄くて教材も多くありません。Huong(フオン)先生は決してベトナム語専門の教育者

では御座いませんが、色々な視点から、教え方について自ら研究や工夫をされ、我々初心者が少しでもベトナム語が上達できるような、カリキュラムや教材を用意してご教示して頂いております。

所で、我々が日常生活でよく話題にするのは「食い気」のことです。ベトナムには世界有数の旨い料理メニューがあります。勉強の中で度々話題に取り上げられました。この度、コロナ禍が下火になったので最初の対面授業を行い、その後ベトナム料理店に行き、授業で話題になったゴイクオン(生春巻き)やチャーゾー(揚げ春巻き)などを頂き、ベトナム料理が日本人の口に合うことを実感しながら楽しく懇親しました。今年是非ベトナム語研修旅行を行い、本場の風物と食文化の勉強ができればと思います。

最後に、効率性と融和性を両立する、Zoom と対面授業を併用しながら勉強会を進めたいと思っております。

ベトナム語と文化は素晴らしいです。多くの方々と共に勉強が出来るよう、皆さんの受講参加を歓迎いたします。

地区からの便り

～留学生と共に、RKK の歩み～

旭区の市民活動センターでの発表会に参加して

北地区スタッフ 松井直子



私たち RKK 北地区は、旭区市民活動支援センター開設 15 年記念行事として取り組まれた「みなくる week」の最終日、2 月 26 日(日)に行われたボランティア団体の「スペシャル DAY」にミニ舞台とブースで参加しました。地区の会員で話し合った結果、舞台では「留学生との社会見学を通しての交流の活動紹介」を、ブースでは「留学生支援などの活動全体の紹介」をすることで準備をしてきました。そして、当日は 30 名を超える方々に私たちの会の発表を聞いて頂く事ができました。

発表は社会見学の担当者である山口さんが 74 回にわたる実績を誇る見学会を、ご自身で作成されたプレゼンテーションを通して、意義と内容を説明されました。また、見学会

に参加された留学生の感想文を笹本さんが読まれました。取り上げられた企業や見学地もなじみがあり、留学生の感想文は、率直な感想と会員に対しての感謝の言葉にあふれていて、聞かれた方々から温かい拍手を頂きました。また、「格調高い発表でしたね」とおほめの言葉をもらいました。

その後、ステージの横に設置されたブースには立ち寄られる方も多かったです。完成できたての RKK の活動を紹介するカラーリーフレットをお配りする事ができたのもラッキーでした。掲示した新聞や机の上に置いた資料を利用したクイズを用意し、解答には留学生の陳紫薇さんにも協力してもらいました。

どの団体も5年ぶりの発表会で、しかもコロナ期で活動を自粛された時期を過ごされての発表活動でしたので、熱がこもっていました。

当日は北地区会員だけでなく、他地区の会員の方々もお越しいただき、ありがとうございました。終了後、なごやかに反省会を持つこともできて、とても感謝しております。

久しぶりの対面交流会

東地区 宮地明男



春の陽気に誘われたわけではありませんが、今年度最後の東地区交流会は久しぶりの対面で実施しました。会場は以前から使っている武蔵小杉の中原市民館。1階の奥にあるフリースペースは利用団体の登録が済んでいます。コロナ禍での事前予約が不要となり、時間枠の制限も無くなって使いやすくなりました。

今回は年度末で多くの会員が欠席する中、久しぶりの対面開催ということもあり、今まで時間の都合が合わなかった人、転居で所属地区が変わった人など、初めて顔を合わす方もいらっしゃいました。深水さんと萩原さんにも参加していただき、総勢7名のミーティングです。

RKKの今年度の新しい動きである運営懇談会や、新しいWebサイト・リーフレットによる広報活動の展開、また、年度末に対面で開かれることになった花見や社会見学の情報などが紹介された後、東地区会員から所属する担当セクションや委員会などの報告も行われました。また、欠席者の多くからメールで寄せてもらった留学生支援を含む近況を紹介しつつ、対面参加者からも最近の活動などを逐次話してもらいました。昨年9月に引き続き、この3月で卒業した留学生も多く、チューターとの関係も移り行く春というところです。

その一人、4月から日本の会社に就職する留学生に声を掛け、フリーWiFiが使える対面会場にオンラインでゲスト参加してもらいました。テーブルの真ん中に集音マイク（兼拡声スピーカー）を設置し、地区会員とのZoomミーティングを開きます。ICT委員会で購入したばかりの備品を初めて使いましたが、何とか無事に運用できました。会場全体を撮影する広角のカメラが無く、画面もノートPCのみということでこぢんまりとした雰囲気でしたが、今後はもう少しスケールアップした取り組みができそうです。



湘南地区のたより

ひらつか市民活動センター [市民とNPOのマッチング交流会]

湘南地区 平澤映二



ひらつか市民活動センターによる3月19日の「集まれ！ ボランティア！ 市民とNPOのマッチング交流会」に参加しました。今回は12団体がエントリーしました。ボランティア活動に興味がある人が沢山出席され熱心に各団体のプレゼンを聞かれています。また、出席できずオンラインで見たいという人のためにYouTubeでのライブ配信も行われました。交流会全来場者は約35人、その内、来客の市民は約14人で、年配の方と共に若い方の出席もあり、用意された席はほぼ満席でした。市民活動センターが今回のイベントのチラシを学校などに配布された効果だけでなく、このところコロナが落ち着いてきたことで少しはボランティア活動をしたと思う人が増えてきたかと思われます。各団体共に活動を市民に熱心にPRされました。

各団体のプレゼンの後、市民とNPOとのマッチングの場が設けられました。私共はテーブルにリーフレット、RKKニュース、そして創立20周年記念誌を揃えました。男性3人と女性1人の計4人がRKKのブースを訪ねられました。男性3人はRKKの活動、留学生のこと、そして留学生支援の内容・方法等の熱心な質問があり、特にRKKニュースの「留学生のたより」記事に関心を示されました。これらの方々は現役ですが、今後のためにボランティアを勉強中とのこと。直ぐの活動は難しいとのことですが、我々の活動に興味をもたれたようです。また女性のからは和服の着付けが趣味で七夕祭りの浴衣などの着付けを手伝いついて質問をいただきました。

プレゼンとその後のマッチングの場での質問対応を合わせて2時間のイベントでしたが、RKKの活動について興味を持ってもらえることができてよかったと思います。RKKは深水、佐々木の両氏が出席しました。

プレゼンとその後のマッチングの場での質問対応を合わせて2時間のイベントでしたが、RKKの活動について興味を持ってもらえることができてよかったと思います。RKKは深水、佐々木の両氏が出席しました。

委員会・懇談会情報

キャリア支援委員会

“キャリア支援オンラインサロン”へのお誘い

キャリア支援委員会 岩瀬暢男



留学生との語り合いの中では時にキャリアや就活の話題に及ぶこともあるのではないのでしょうか。内容が日常生活の中で得られる情報を超えるような時もあります。このような場面に備えて、キャリア支援オンラインサロンを開催していますので、ここでは過去12ヶ月の活動の様子をご紹介します。

毎回、話題提供者による次のようなテーマ（実績）に加え、自由話題も併せて進めています。

- ジョブ型雇用社会とは何か
- MOOC（大規模公開オンライン講座）と留学生
- インターンシップ、就業体験、職場体験の中身
- 就職内定率の中身
- ダイレクトリクルーティング
- ハローワークと留学生

- SNS と留学生の就職活動
- 外資系企業への就職希望が日系企業を上回る 2023 卒見込み留学生
- チェックシートとインタビューによる自己分析の支援
- 適性検査 SPI3 を疑似体験してみる
- 外国人在留資格—高度外国人材の呼び込み
- 自己分析ツール（ジョハリの窓）を体験してみる

参加者は累計で 58 名でした。各回とも 1 時間の中で、気楽に意見交換を進め、楽しいひと時を過ごしました。情報交流にサロンを是非ご利用ください。

ICT 推進委員会

大学の日本語教育の先生からのアプリ推奨

ICT 推進委員会 永作重夫

ICT を RKK の日本語支援活動に導入する試みの一環として、YNU で日本語教育に携わっている先生に初級と中級レベルの教材を推薦して頂きました。「留学生から日本語アプリ“はどれを活用したらよいかとの質問等があるか”と思います。これに対して、先生の立場からどんなアプリを推奨されているのか、ご教示願います。」と伺ったところ、「大学の日本語教育の授業をきっちり受けてもらえばよいのですが、様々な都合で不参加になった場合のフォローとしては、大学で利用している教材のアプリを利用してもらおうのがベストだと考えています。」との回答を得ました。YNU で使用している教材は、以下の URL で閲覧できます。

YNU 日本語学習

[初級レベル \(J100-J200\) | 日本語学習 | 横浜国立大学 国際教育センター \(ynu.ac.jp\)](https://www.ynu.ac.jp/~japanese/)

・上記以外の初級、中級の教材は、以下のようです。

初級

1) まるごと

<https://www.marugoto-online.jp/info/jp/>

2) つながるひろがる

<https://tsunagarujp.bunka.go.jp/>

3) NIHONGO e な (いいな)

<https://nihongo-e-na.com/jpn/>

この web サイトは、日本語学習のサイト、アプリ、ジャンルを各々初級、中級、上級と区分けして検索できるので、多くの日本語勉強の情報を獲得できます。



4) NHKWEB NEWS EASY

<https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>

中級

1) やさしい日本語

<https://www.nhk.or.jp/lesson/en/about/overview/>

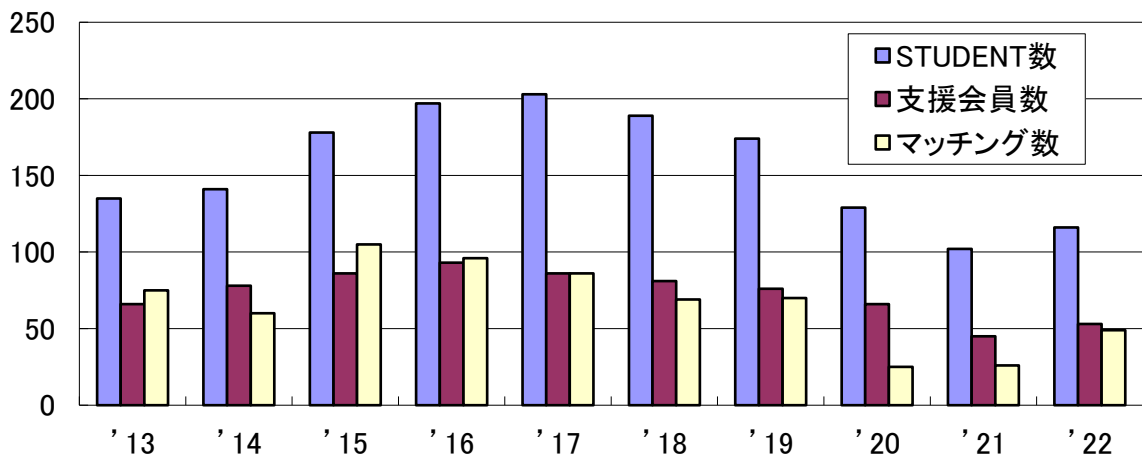
留学生が、各教材を確認して、自分にあったものを選べば良いと思います。

会員委員会

マッチング管理推進担当からの報告

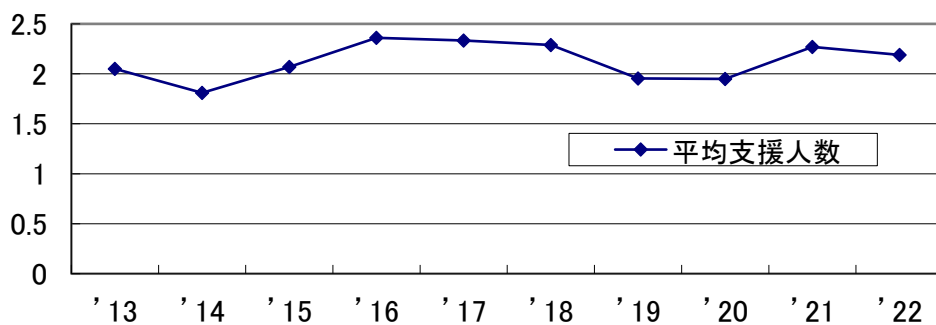
- ・ 2013年度から、2022年度までの日本語支援状況の推移を図示しました。
- ・ 人数等は、すべて延べで数えた数です。
- ・ 22年度は留学生の人数がやや増加しました。

年度	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22
STUDENT 数	135	141	178	197	203	189	174	129	102	116
支援会員数	66	78	86	93	86	81	76	66	45	53
マッチング数	75	60	105	96	86	69	70	25	26	49



年度	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22
平均支援人数	2.05	1.81	2.07	2.36	2.333	2.289	1.955	1.95	2.27	2.19

平均支援人数



RKK 運営懇談会

RKK 運営懇談会を開催して (RKK の現状とこれからを考える)

理事長 深水 智明

2022年度の活動として、“運営懇談会”をこの1年、4回開催し意見交換しました。創立20年を越えRKKを取り巻く環境の変化は大きく、現状を確り把握すること、今後に向けて適切な対応を考えることが望まれます。当懇談会はそのような観点を皆様と共有することが目的です。平素は日常の活動、課題への対応などでこのような意見交換の機会が持てません。

懇談会4回の参加人数(平均)は約15人/回(1回以上参加人数は19人)でした。懇談の総時間は約9時間でした。主に役員の方々、有志のスタッフの方々が参加されました。コロナ禍と会場等の制約で人数が限られたことは大変、残念でした。

懇談会では、まずは参加者に現状、今後についてのアンケート調査をし、それを基に懇談の具体的なテーマ(分野)を設定しました。その課題分野は「人(会員、留学生)関連」、「活動関連」および「マネジメント関連」に分類され、それぞれについて詳細を語り合いました。多くの議題、意見提起がありました。紙面の都合上、要点を報告します。

・「人的関連」；活動人数や個別支援者数の減少(高齢化など)、スタッフの固定化、さらには、女性会員の必要性等の指摘がありました。よって、実質的活動力の減少が懸念されるとの認識でした。今後、コロナ禍が明け留学生が増えるとの予測もあり、会員のリクルート活動の必要性が求められました。また、留学生のリクルートにはチューターや留学生の役割(口込み等)の効果が示されました。

・「活動関連」；留学生が求めるものの変化(多くを占めた“日本語”学習支援から就活、文化等への広がり)、地区交流会の活性化(出席状況、地区交流のあり方、地区間の情報交流など)、オンラインシステム活用による新しい交流(会員間、会員一留学生)の展開、さらに、目的に応じた少人数のグループ活動等が議論されました。上記の留学生の変化への対応として、留学生のために適切なマッチングの重要性も言及されました。さらに、日本語教え方のオンライン利用、Youtube等のSNS情報活用などIT利用促進の提起もありました。

・「マネジメント関連」；“広報”に多くの意見がありました。これは上記の会員、留学生の確保に直結する活動であり、時代に沿った広報に新しい手法の活用が望まれました(実施に一部着手)。そして、RKK活動の特徴、利点のさらなるアピールが要望されました。

1:1の個別活動と地区交流会、スタッフミーティング等の組織的活動、それぞれの参加状況から両者のギャップが議論されました。個人と組織、不可分な関係にあり、ボランティア活動における個人の希望と多人数の活動の調和が議論されました。また、創立当初の規則では、現状活動の実態と異なる点、例えば、昨今のオンラインシステムの活用など新しい活動などがRKK創立当初の諸規則と乖離の検討の要望もありました。

・「全般」；「国内NPOの運営上の課題」(朝日新聞アンケート調査)として、人手不足、世代交替、高齢化、社会変化とのミスマッチ等が挙げられており、RKKもまさに同様の課題に直面しているとの認識でありました。これらの状況を踏まえ、RKK活動の趣旨を活かすために、的確な留学生対応、RKK内部対応が求められるでしょう。時に応じ、RKKの運営を広い視野で見ること望ましいと思われれます。

会員からのたより

思い出の留学生

大田孝生



私は RKK 誕生時のメンバーの一人ですが、RKK 発足間もなくのころ、当時、私が日本語の日常会話の手ほどきをしていた中国人女性留学生から、張岩さんという同じ中国人女性留学生の日本語文章の指導をして欲しいとの依頼があり、引き受けることとしました。本人に会ったところ、対象は経済学博士論文とのこと。博士論文とは・・・と、一瞬ためらいましたが、引き下がるのは男がすたれると思い、又、同時に断るのは誕生したばかりの RKK の名がすたれると思い、思い切ってお引き受けすることとしました。

張さんの論文提出は、毎年、9、10、12月で、それが2003、4、5年と3年間に亙るものでした。張さんからメールされる論文原稿はどういうわけか毎日夜9時、10時ころで、字句の訂正を中心に中にはメールのやりとりが深夜に及ぶこともしばしばで、こちら半ばネを挙げる寸前でした。しかし、彼女の真剣さにこちら負けじと頑張ったものの、毎夜の単純な繰り返しに飽きて、逆にたまには難癖をつけたりもしたものです。勿論、日本語の訂正が主たる作業ですが、たまには多少行き過ぎたと思えるような口出しもしたこともありました。例えば、張さんが北京の中央官庁（日本の通産省？）にまで行って、直接、調べた箇所が余りに簡単過ぎるので、これは日本人の学生には不可能なこと故、もっと行数を増やして強調した方がよいのではとの余計な口出しなどしたり・・・。

そして、3年後の2005年春、張さんから「合格しました」との電話があり、こちら飛び上がるほどに喜んだものでした。彼女はその後、ロンドンの大学に留学を続けたことまでは、知っていましたが、実は昨年末、彼女から全く久しぶりにメールもらい、現在、中国山東省の山東大学で教授として教鞭をとっていることを知りました。張さんからもらっていた博士論文に関与された教授の名前が十数名ありました。しかし、20年経った今なお横浜国大で鞭をとっておられる先生を探し当てることに苦労しましたが、深海さん、萩原さんのご尽力により、現在なお横浜国大で教鞭を執っておられる山崎圭一教授の存在が分かり、張さんの現況をお伝えすることができ、そのことを張さんに知らせところ、早速、喜びのメールがありました。これで、やれやれ、でしたが、朽ちかけた橋を改築できたような気がします。20年ぶりに横浜国大と元中国人留学生との相互の健在を知り合える手助けができたことは私の喜びでもあり、RKK の存在意義を再確認した次第でした。張さんの博士論文がパスしたとき、記念に・・・、と言って頂戴した一輪挿しの花瓶は私のデスクに今も飾ってあります。

RKK ニュース作成への参加をお願いします。

RKK ニュースを年4回発行しており、そのつど企画、原稿依頼、編集、校正、発行を行っています。編集で使う Word の利用法は毎回ほぼ同じで、難しいことはありません。編集作業の当番は年1回程度です。その他の作業は共同/分担で行っています。紙面作り、コミュニケーションに少しでも興味のある方、一緒にニュースを作りませんか。編集会議へのオブザーバー参加は大歓迎です。ご希望の方は下記までご連絡下さるようお願いいたします。いつも広報委員会にご協力を頂き有難うございます。

連絡先 e-mail : rkk1025office@yahoo.co.jp (広報委員会宛と記してください) 広報委員会

おもな活動 (2023/2 から 2023/4 まで)

スタッフミーティング

- ◇ 3/25 午後、サポートセンターR604 にて 17 人のスタッフの参加のもと、2022 年度第 4 回スタッフミーティングが行われた。コロナは収束傾向となり、対面式会議が実施できた。前半は活動グループ、地区交流会、委員会からの C&C (報告・連絡そして相談)、後半は 2 グループ (①地区交流会、②委員会+活動 G) に分けてより深く情報交換・意見交換をした。

活動グループ

- ◇日本語支援 G：一対一の留学生への日本語支援は、オンラインまたは対面式で継続的に実施。新年度の活動として、イベントをどのように対応すべきかを検討。
- ◇文化・ファミリー交流 G: 3/31 に、3 年ぶりのお花見会をこども自然公園で実施。留学生 2 人を含め 11 人が参加。
- ◇外国語学習 G：中国語講座は 11 人が受講。ベトナム語講座は 10 人が受講。週 1 回の ZOOM オンライン授業を継続中。ベトナム語講座は 4/2 に、初めての対面式クラスと会食を実施。
- ◇社会見学 G：3/29 日に、第 75 回社会見学として NHK 博物館と浜離宮を見学。留学生 4 人含め 24 人が参加。

地区交流会

- ◇東地区：3/12 に、オンラインと対面のハイブリッド形式で交流会を実施し、7 人が参加。
- ◇西地区：1/29 に、12 人がオンラインに参加して交流会を開催。
- ◇南地区：1/14 に、10 人からの近況報告を配信。
- ◇北地区：2/26 に、鶴ヶ峰で「みなくる WEEK」に参加し、プレゼンテーションを含め RKK の PR を実施。
- ◇中央地区：3/16 に、カナファンにて 6 人で、久しぶりの対面の交流会を実施。
- ◇湘南地区：3/24 に、8 人が参加して対面式交流会を実施。3/19 ひらつか市民と NPO のマッチング会に参加。

委員会

- ◇会員委員会：会員名簿の更新、マッチングの実施。リクルート推進用リーフレット作成プロジェクト。
- ◇広報委員会：RKK PR カラーリーフレットの作成と配布推進。RKK ウェブサイトの立ち上げ。RKK ニュース 91 号の編集。
- ◇キャリア支援委員会：オンラインによるキャリア支援サロンを実施。
- ◇企画委員会：サポートセンター会議室予約管理。運営懇談会参加。
- ◇会計委員会：立替支払い処理、収支決算作成、年会費徴収
- ◇ICT 推進委員会：委員会にて各種支援策を検討。
- ◇事務室：事業計画作成準備、スタッフミーティング開催準備。総会準備。
- ◇運営懇談会：11 月から、10 数人の出席で 3 回の懇談会を実施し、諸課題の抽出と対応策を検討。



よこはま夢ファンドのご案内

横浜市にはボランティア団体の活動支援を目的とした“よこはま夢ファンド”という制度があることをご存知でしょうか。本ファンドへの寄付を通じて RKK の活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/tishin/shiminkatsudou/fund/>



留学生の皆さんへ／To International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation) ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting/ Entry sheets/Interviews)



Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact : 津田(Tsuda) e-mail sakura_tsudakei@ybb.ne.jp

Website : <https://sites.google.com/view/newrkk/>

正会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKK では下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な形で交流出来ます。

- ・ **日本語学習支援** (留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします。)
- ・ **文化・ファミリー交流** (フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます。)
- ・ **社会見学** (工場見学、名所のハイキングに行きます。)
- ・ **外国語学習** (留学生が先生となって中国語・ベトナム語を勉強します。)

RKK の活動に興味をお持ちの方は RKK のホームページをご覧ください。

編集後記

コロナ感染者はかなり減少しましたが、ゼロにはならない状態が続いています。こうした中で、広報委員会は対面で編集会議を開く一方、online で RKK ニュースを共同編集する試みを始めています。植竹さんと私とでクラウドストレージを使った編集を試みました。また、今年2月からは、正会員と留学生向けのリーフレットを公共団体、大学関係の場所に置かせて頂き、PR を強化しています。さらに、スマホ利用者を意識した website を立ち上げました。これらの試みは始まったばかりで、会員皆様の協力を得ながらさらに良いものにしたいと考えています。

NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦
Eメール：rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327



ウェブサイトののご案内

PC の場合には [npo rkk](http://npo.rkk.jp) で検索、または <http://rkk.world.coocan.jp/> をクリック、
スマホの場合には <https://sites.google.com/view/newrkk/> をクリック、または QR コードをご利用ください。

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集：RKK 広報委員会 2023 年春号担当 植竹光枝、村田威雄 April.25,2023

無断転載をお断りします。